

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和4年12月7日

出席者	参加者	37人	
	議会側	【文教厚生委員】重森委員長、牛尾副委員長、坂元委員、坪井委員、玉川委員、重光委員、谷委員 【委員外議員】石原議長、乗越議員	
開催日時		令和4年11月7日（月） 15:00～16:30	
開催場所		河内保健福祉センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	「東広島市の健康増進・高齢者福祉」について
		概要	文教厚生委員会が所管事務調査を行い条例化に至った「東広島市受動喫煙の防止に関する条例」の制定までの経緯や、市が実施するフレイル対策・認知症予防施策の説明を行った。
		質疑応答	なし
	意見交換	高齢者福祉全般について	
		<p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者は老々介護、自治協も高齢化、民生委員や自治協の負担が増えている。市民協働の名のもと、負担ばかり強いのではなく、しっかりと仕組み作りと予算をつけてほしい。 2 支援のメニューがたくさんあっても、高齢者は理解できない。SNS、ホームページ、市民ポータルサイト、広報誌などでは事業が浸透しない。ケアマネージャーや介護施設などから直接的に高齢者に説明してほしい。無料で個人賠償責任保険に加入できる事業などはいいい取組みだが、市民が知らないので、意味がない。 3 在宅介護の支援や介護保険料の値上げは施設関係者や当事者にとって喫緊の課題である。 4 地域包括支援センターが河内町は閉鎖して統合されている。社会福祉協議会や地域包括支援センターの人員の充実を求めたい。 <p>【議会側意見】</p>	
	意見交換	高齢者の移動手段について	
<p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 通いの場を作っても高齢化に伴って、そこまで行く手段がない高齢者が多い。世話人や近所の方の送迎は安全面で問題がある。公共交通など送迎できる方法を考えないで、参加者を増やすというのは無理がある。 			

実施内容報告	意見交換	高齢者の移動手段について
		<p>2 のんバスの料金について、高齢者の外出を増やしたいなら、65歳以上100円、75歳以上無料といったサービスを考えるべきだ。公共交通は無料で利用者を増やすことだ。</p> <p>3 地域サロンについて、高齢化が進み地域サロンへの参加が少なく、特定の人だけの参加になっている。参加のための交通手段がないので行政で対策を考えて欲しい。</p> <p>4 地域行事に参加したいが、高齢者の方々や免許の返納をされた方は家から会場まで出向くのが難しい。また、行事の主催者の送迎や、隣近所の方との乗り合いで会場まで移動しているが、限度がある。</p> <p>5 病院や買い物へ行くためには地域バスを利用したいが、バス停まで行くことが難しく利用するのが困難である。何とかしてほしい。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>4 他の自治体などでは、老人施設の送迎車両が稼働していない時間帯を利用し、地域の高齢者向けの通院援助などに協力して頂くような支援を行っている所もある。いずれにしても、高齢者や障害者等の交通弱者に対する地域交通については非常に重要な問題であり、持ち帰り検討したい。</p>
		高齢者の健康増進（通いの場・元気輝きポイント等）について
		<p>【参加者意見】</p> <p>1 元気輝きポイントの仕組みは理解しにくいし、手続きが面倒。世話人にも負担が大きい。カードなど簡単な仕組みは考えられないか。参加者への景品などは楽しみで効果的と思う。</p> <p>2 元気輝きポイント制度について、あるサークルで10回参加すればポイントが貰えるのだが、9回の参加だったので貰えないといった事例があった。ポイント取得のハードルを下げること検討してもらいたい。</p> <p>3 同じような活動に参加しても、元気輝きポイントとそうでないものがあり、区別する事が難しい。一本化した方がよいのではないかと思う。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>3 元気輝きポイントとその他のポイントの一本化については議会でも意見が出ている。複数のポイントを一本化することで、より使いやすい形になるよう、執行部と共に検討していきたい。</p>

実施内容報告 意見交換	認知症関係について
	<p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認知症の家族の方が悩みを抱えずに、行政に SOS のサインを出して頂きたいが、恥ずかしいと思ったり知られたくないと思われていたりする。 2 認知症の方への保険の補助など市の施策には素晴らしいものがあると感じるが、周知が足りないのか知らないことが多いと感じる。 3 認知症高齢者のための個人賠償責任保険について「保険料を市が全額負担」となっているが運営は大丈夫なのか、実状にあっているのか、といった懸念があるので、内容について情報発信をしてもらいたい。 <p>【議会側意見】</p>
	受動喫煙の防止について
	<p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後子供たちに受動喫煙あるいはたばこの害について教える予定はあるのか。幼児や児童に具体的に伝えるのはとても難しいのではないかと思うが、紙芝居等を使って行うのはどうか。 <p>【議会側意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まだ条例が施行されたばかりなので、今後の取組という事になるが、まず家庭からの禁煙指導や子供達にも分かり易い形でのタバコの害について啓発していくものと考え、経過を観察する。
	その他
	<p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発達障害支援について、具体的な支援内容について詳しい情報を発信してもらいたい。 2 地域おこし協力隊について、宇山地区に 4 人、小田地区に 1 人、河内地区に 1 人移住されており、地域にとってたいへん良いことだと思うが、こういった方々の活動について行政からのアピールが足りないように思える。地域の方はこういった方々との交流を望んでいるので、もう少し情報発信をして欲しい。 3 広報で重要なのは伝えることである。広報誌は全体的に文字が多く、小さすぎる。読み手の気持ちを考えてほしい。 4 公務員の地域への貢献が乏しい。イベントや地域事業への参加を増やすことはできないか。

実施内容報告	意見交換	<p>5 議員は市民の代表であり、サラリーマン議員では市民の代表とはいえない。市民の真の声を反映してほしい。</p> <p>6 自動車免許返納について、返納は本人申請となっているが、家族からの申請でもできるようにしてもらいたい。</p> <p>7 空家対策、荒廃土地について、権利者が遠方にいるため連絡が難しく、荒れたままになっている家や土地がある。管理について法律で対策ができないものか検討してもらえないのか。</p> <p>8 地域は宇山だが、道幅が狭く離合が難しい場所が多いため、道路改良を行ってもらえないか。</p> <p>9 市民スポーツ大会や生涯学習フェスティバルなどイベントは誰のためのものか、原点に戻って考えるべきだ。</p> <p>(1) リモートで地域から参加しても、市民の交流にはならない。運動公園での開催のように、リアルに市民同士が交流しなければ、一体感のあるフェスティバルにはならない。</p> <p>(2) 人口の少ない地域にとっては負担が大きい。無理して何とか、大会参加している状況であるが、参加するからには勝ちたいという気持ちもあり、勝つことで地域が盛り上がり、喜びを共有でき、地域としての達成感もある。これが地域のまとまりに繋がる。地域人口によってブロック分けするなど、市民への配慮が必要ではないか。大会開催日と中学校の行事等の日程が重なると、参加者が限定されて、人集めが難しく、日程にも配慮してほしい。</p> <p>(3) 市民スポーツ大会競技種目のゲートボールが突然ペタンクに変更。一貫性がなく、そのたびに地域は翻弄される。(推奨されていたユニカールを練習していたが、ペタンクが市民スポーツ大会に導入されたことも不満)</p>
	要望・提言等	【議会側意見】
	その他 特記事項	

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和4年12月7日

出席者	参加者	39人	
	議会側	【文教厚生委員】重森委員長、牛尾副委員長、坂元委員、坪井委員、玉川委員、重光委員、谷委員	
開催日時		令和4年11月14日（月） 15:00～16:30	
開催場所		豊栄生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	「東広島市の健康増進・高齢者福祉」について
		概要	文教厚生委員会が所管事務調査を行い条例化に至った「東広島市受動喫煙の防止に関する条例」の制定までの経緯や、市が実施するフレイル対策・認知症予防施策の説明を行った。
		質疑応答	なし
	意見交換	高齢者福祉全般について	
		<p>【参加者意見】</p> <p>1 認知症の対応について個人賠償責任保険料の全額負担や見守りシールの交付などの事業はあるものの、圧倒的に不足しているのは、専門的なマンパワーである。豊栄町の高齢化率は50%目前、地域によっては50%を超え、まさに限界集落となっている。一人暮らし世帯や老々介護世帯が多く、地域の世話をするのも75歳以上の団塊の世代や80歳前後が中心というのが実態である。認知症の人の把握も困難である。ましてや進行状況については個人差が大きく、世話をする人の中にも認知症が出てくる。家族や地域で支えるのは限界にきている。専門的なマンパワーを増やしてほしい。</p> <p>2 北部地域包括支援センターが福富にできたため、豊栄に保健師が居なくなり相談できず困っている。豊栄のような高齢者の多い地域では保健師は2人以上欲しい。保健師が足りていない状況である。高齢者の方々はセンターまで出向く為の交通手段がない。</p> <p>3 近所の方とのつながりも大切だが、高齢になればなるほど気を遣わねばならないことも増える。</p> <p>4 老人クラブの会員はたくさんいるが、実際に活動している人が少ないことは課題と感じている。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>2 東広島市の保健師やケアマネージャーなどはまだ充実しているとは言えない状況で、これらの意見を市に伝え、増員を求めている。</p>	

実施内容報告	意見交換	<p style="text-align: center;">高齢者の移動手段について</p> <p>【参加者意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が社会参加するために交通手段は大きな課題である。タクシー券も少ない、コミュニティバスそよかぜも利便性がないとなると、免許返納もできない。西条までのバス代も高齢者にとっては高額である。このような実態を議会として、どのように考えているのか。 2 豊栄では全地域で百歳体操をしているが、本当に来てほしい人（フレイル状態の人や、一歩手前の人）ではなく、元気な人の参加が多い。これは交通手段の問題が大きい。近所で乗り合いで参加する人もいるが、万一の事故を想定すると乗り合いも問題がある。地域交通のあり方を考えてほしい。 3 通いの場に集いたくても交通手段がないのが最大の問題点。豊栄そよかぜ号のコースなどの工夫が必要と考えるが、コースの変更には時間がかかる。距離もかなりあるのでタクシーも躊躇する。 4 免許返納は安全を考えると重要と思うが交通手段が無いので難しい。芸陽バスが無くならないように強く要望する。電動シニアカーに補助があれば嬉しい反面、シニアカーだらけになったら運転する立場からは危ないと思う。 5 豊栄にはスーパー・コンビニはあるが、医療機関が充足しておらず1日かかりで街へ受診に出かけている現状だ。 6 現在市の方からタクシー券などの助成があるが十分ではない。交通手段について地域の方でも検討するので行政のほうでも色々な検討をしてもらいたい。 7 芸陽バスも本数が減り、豊栄から河内への便もなくなり非常に困っている。そよかぜ号もあるが、家からバス停に行くまでの交通手段がなく困っている。豊栄交通などに協力してもらい、もっと使いやすいオンデマンド交通ができないか。通いの場に一番必要な人がいけない状況である。 <p>【議会側意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 河内地区でも同じような意見が多く出ており、交通の課題は非常に重要な問題と思われる。オンデマンド交通は他地域において実証実験を実施していたが、なかなか結果が出ていないのが現状。このことについては持ち帰り検討していきたい。
--------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実施内容報告	意見交換	高齢者の健康増進（通いの場・元気輝きポイント等）について
		<p>【参加者意見】</p> <p>1 元気輝きポイントは、高齢者には励みになっていいと思う。チェックなどを簡単にして性善説に立って、効率的な運営をしてほしい。</p> <p>2 病院ではいろいろと食事制限を言われ、メディアでは体に良いと言われるサプリメント等が出回っている。私たちは何を信じたらいいのか迷ってしまう。</p> <p>3 100歳体操は、足腰が良くなり、大変効果があった。こういった場で色々な方との出会いが健康の元になっている。</p> <p>4 一人暮らしをしているが、物事を忘れることがないようにメモを利用してスケジュールを確認している。地域の行事に積極的に参加するようにしている。</p>
		<p>【議会側意見】</p>
		認知症関係について
		<p>【参加者意見】</p> <p>1 認知症への対応プログラムをしっかりと提供してほしい。地域としては、5年先といった悠長なものではない。今後どうやって地域の人たちを見守っていくか、大変苦慮している。</p>
<p>【議会側意見】</p>		
空き家を活用した高齢者施策について		
<p>【参加者意見】</p> <p>1 空き家が増えているが、その空き家を活用した、高齢者の共同住宅のようなものが出来ないか。病院の空き家があり、そこは病室もあるので10人くらいで共同住宅にできたらいいと思う。年を取ると、一人暮らしは不安なので、皆で住めれば楽しいと思う。</p> <p>2 空き家を活用した対策に高齢者のグループホームなど考えてはどうか。</p>		
<p>【議会側意見】</p> <p>1 空き家問題も重要な案件であり、市として何が出来るのか今後検討していきたい。</p>		
その他		
<p>【参加者意見】</p> <p>1 広報紙などにカタカナ用語はできるだけ使わないでほしい。市民の立場で作ってほしい。「カタカナ禁止」でもいいと思う。「わかる言葉」で市民に伝えてほしい。</p>		

実施内容報告	意見交換	<p>その他</p> <p>【参加者意見】</p> <p>2 地域や個人が使える補助金について一覧にしてほしい。また申請が複雑すぎる。支所での対応も本庁への問い合わせが多く、かなり時間がかかる。職員でもよく分からないことを市民に要求しないで、簡潔にする仕組みにしてほしい。</p> <p>3 若者の定住が難しく、息子たちも働き先がないため、家を出てしまい、人口が減る一方。働き先、そこに住みたくなる街づくりを考えていく必要がある。</p> <p>4 農業の担い手も高齢化が進み、後継者不足が深刻となっている。</p> <p>5 我が家は息子、娘も自営業の跡を継ぎ近くに住んでいるが、小学校・中学校の児童生徒の数が少なく、好きな部活に入れず高美が丘中学に通学しバレーを続けている。まだ小さい子供がいるが、今後ますます子供が減り、学校教育現場がどうなるのか不安である。</p> <p>6 普段のゴミ出しのルールが守れない人がいる。高齢者だけでなく若い方が守れていない。 ※グループ内から「名前を書いて出すようにしたらどうか」といった提案があった。</p> <p>7 子孫世代が帰ってこないのが現状である。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>3 議会としても、若者が帰って来られるような地域づくりや、仕事づくりについて、執行部と協議を重ねている。</p> <p>4 農業の担い手不足は、今後ますます高齢化が進み、若者の離農が進む事が懸念されている。そういったことから今後の農業の在り方について、様々な検討がなされている。</p> <p>5 頂いた意見は持ち帰り、関係部署に伝え検討していく。</p>
	要望・提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の周辺地域における急速な高齢化が進んでいる中、だれ一人取り残さないという理念の下、各種の施策を早急に展開されるように要望したい。 ・周辺地域の高齢者や住民に対する生活環境の整備をすることが急務であるように感じた。 ・豊栄地区では地域名物として「広島へそ丼」を販売している。10年前から手掛けており、栄養価が良いため認知症予防にもなると言われている。名産物として広めていきたいので議会でも後押ししてもらいたい。 ・現在の火葬場に炉は2基あるが実質1基しか稼働されていない。もう1基稼働できるよう検討してもらいたい。

その他 特記事項	
-------------	--

● 2 地域の議会報告会を終えて

【委員所感】

- ・ 市政は「誰のためにあるのか」ということを痛感した。市民のための事業が市側の自己満足で、逆に市民の負担になりかねない場合もある。市民協働は共助として大切であるが、あくまでも市民本位の市政を忘れてはならない。
- ・ 高齢者の移動手段については非常に多くの意見を頂いた。高齢の交通弱者にどのように対応していくかは、喫緊の重要課題であることを再認識した。地域住民の立場で課題解決の道筋を立てるのが、議会の役割である。
- ・ 市民に事業を周知することは重要な課題であり、市の広報のあり方は見直しが必要である。カタカナ用語が頻繁に使われ、市民には伝わりにくい。
- ・ 議会報告会は、議員が行政の立場で市民に回答する場ではない。議会として、議員として何をしたか、何をするかをしっかりと市民に伝えることである。報告会の冒頭で、その点を参加者に伝えることも必要だと考える。そのうえで市民の方の不満や意見を聞き、今後の議会活動に反映していかなくてはならないと思う。
- ・ 事業の細部や数字的なものは、間違いではと思う点も見かけるので、自信のないところは、回答すべきではないと思う。